

一人の手



市議会議員 佐藤ひろゆき

待ったなしの地球温暖化対策

「地球温暖化対策」は、私たちも「地球市民」としての自覚を持って行動することが必要であると思います。地球温暖化を身近に感じ、恐れているのに、「何かしなくてはならない」と感じているのに、なかなか行動に移せない、移さないというのが現実ではないでしょうか。本市では、昨年度から「市役所内温暖化対策」を始めました。私は、市民や事業者の方々とは今後活発なコミュニケーションをとって、「木を植える」というような「やりたくなる環境行動」とか、「ビジネスとして環境に対する貢献」とか、考えていきたいと思っています。

「小さな親切」実行章受賞

6月25日に「小さな親切」運動本部から「小さな親切」実行章を受賞し、7月11日に伝達式が行われました。これまで、当たり前のようにやってきたことが受賞ということに感激しております。これからも、「困っている人のため・社会のため」に小さな親切を積み重ねてまいります。



いよいよ羽黒街道の改修工事着工



6月6日に第二学区コミセンにおいて、羽黒街道の拡幅改修工事の説明会が開かれました。学区住民の悲願でもあった羽黒街道の拡幅改修工事がいよいよ今年度から着工となり、26年度までの完成に向けて進められていきます。私も参加した2年間に及ぶワークショップで議論された「まちづくり」の視点での地域住民の声が盛り込まれるようにしていきたいです。

市民協働のまちづくり 東近江市

7月7日から10日まで、市民生活常任委員会の視察に行ってきました。9日に訪れた滋賀県東近江市は、「まちづくり協議会」を設置しいろいろな分野の課題を解決し、市民と行政が一体となってまちづくりをしています。私は、鶴岡市もぜひこのような手法でまちづくりを進めたいと考えています。



上山王日枝神社で

火縄銃の演武がついに実現

7月3日に小真木原の上山王日枝神社の例大祭が行われ、昨年から私と氏子の皆さんと荘内神社、松山藩が一緒に取り組んできた火縄銃の萩野流の演武が初めて実現しました。祭りは盛り上がり、火縄銃の伝承を通じてこれからの地域づくりに生かして欲しいと願っています。



イギリスの社会的企業を学ぶ

6月25日に東北公益文科大学大学院主催のイギリスの「社会的企業」について、テイーズサイド大学のトニーチャップマン博士他2名の研究者が来鶴してシンポジウムが開かれました。私の指導教授である渋谷智明教授のゼミで「社会的企業」を学んでおりますが、これからの地域活性化においての役割は重要です。



トニーチャップマン博士と固い握手

「やまがた語」の「三」出演



6月22日に中央公民館で、私が所属する「田川民話の会」が主催して県内の「第8回やまがた語りのつどい」が開かれ、私は「きつねと羽黒山伏」を語りました。



神明町の住民要望の側溝改修工事始まる

発行日 平成二十年七月二十日
 発行所 佐藤ひろゆき
 事務所 〒997-0024 鶴岡市朝陽町一〇-三三
 電話 0235-24-3402 FAX 25-2713
 自宅 〒997-0025 鶴岡市田中二丁目七十六
 電話 0235-25-1411 FAX 25-1411

新政クラブ

消防団組織一本化してより機動的に

私が所属する市民生活常任委員会が所管する消防団が、今年度から合併町村の連合消防団を一本化して「鶴岡市消防団」となり、4月6日に結団式が行われ、6月15日には新しい方面隊旗授与式が行われました。災害に強い安心のまちづくりのため3月に「防災計画」が策定されました。



4月27日加代代議士と鶴岡市議員

「次世代育成政策研究会」

活動報告

本と同様の山中議員が主催する「次世代育成政策研究会」の例会が24名の議員が参加して、4月22日新しく本市で策定された「新母子保健計画」を学び、その後、新編された第二中学校を視察しました。



農業を猛勉強中

農業関係を広く知るために、食料、食品の安全、安心、農業、農村、農機、環境などについて、東北公益文科大学院で開かれている「農業特別セミナー」(8回)と山形大学で開かれている「農学の夕べ」(30回)を受講して、本市の農業振興であるこれからの農業について猛勉強中です。

大井沢で おいしい山菜を 食べる会開催

4月8日
に後援会主
催の西川町
大井沢で、
「おいしい
山菜を食べ
る会」が開
かれ、20名
が参加しま
した。大井沢
の「自然と
匠の伝承館」を見学したあと、
民宿「しずか」でおいしい旬
の山菜をおなか一杯食べてま
しました。



5月20日大井沢まつり会場



「加代市議会」



5月初日から23日まで鶴岡
県大津市で開催された(財)市
町村振興協会主催の市町村議
員を対象にした「地方自治」
特別研修を受講してきました。
地方議会の役割、地方公務員
制度、地方自治体の人事行政、
地方自治制度、地方自治財政制
度などみっちり勉強してきました。

「研究報告会」で研究の進行状況を報告

7月19・20の両日東北公益文科大学院の「研究報告会」が開かれ、私は、研究テーマ「障害者の就労と地域生活支援策についての研究」～自立生活に向けた障害者からの提言～を研究の内容と2年目の進行状況について報告しました。

全世代の支えあいに基づく安心な医療制度を

6月定例会で国民健康保険条例一部改正案に業政クラブを代表して賛成討論を行いました。将来も高齢者医療に必要な財源が増えていくことを考えれば、全世代で潤沢なく分担し、支えあっていくべきです。今後も必要な医療の水準を落とすことなく、安心して医療にかかれる、持続可能な制度が必要であると私は考えております。

第2回地域づくり フォーラムを開催

6月1日に精三会館で第2回「地域づくりフォーラム」を実行委員の一人として開催しました。80名余りの参加者でテーマ「地域で支えあう福祉コミュニティづくり」を話しあいました。



子育て支援体制を

職員 本年四月から四十歳以上七
四歳を対象に特定健康診査・特
定保健指導が義務づけられた。
実質率向上のための方策として、
①未受診者対策、②関係団体・
地区組織の協力、③かかりつけ
医の協力、④子育てが困難な障害
者・高齢者への対応策について
伺う。

職員 保健者である市民部と衛生部とを担う健康福祉部の実務体制の連携強化をどう図るのか。保健課長 七年前にわたる国のヘルスアップモデル事業の連携した取り組み経験を生かし、予防対策も効果的に推進したい。市民部課長 職員が健康課と国保年金課を連携するなど、連携して事業を進めており、今後も関係の協力体制を強化したい。